

令和5年度入学者 入学式及び授業開始までの Q&A

【教務に関する Q&A】

Q1:授業科目の内容を知りたい場合はどうすればいいですか？

A1:シラバスで確認することができます。

シラバスとは授業計画のことで、科目名、一般・専門の区分や単位数、使用する教科書などの科目基礎情報のほか、担当教員が授業の到達目標、授業の概要・進め方、履修上の注意点、授業計画(スケジュール)、成績の評価割合など、履修する上で必要なことを示したものです。

シラバスは、本校のホームページ「学校案内」>「シラバス」で確認できます。履修期間中の予習・復習に役立ててください。

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoolguide/syllabus/index.php>

Q2:教科書はどうやって入手しますか？

A2:入学式までに購入教科書(教材含む)の一覧表をお送りします。

入学式に販売しますので、購入してください。入学式に購入できなかった教科書、教材については、本校指定の書店(販売店)で直接お求めください。

作業着は、入学手続き日に採寸をし、入学式に購入していただく予定です。

Q3:パソコンは入学までに購入した方がいいですか？

A3:本校ではパソコン室や図書館にパソコンを整備しています。パソコンが必要な授業はパソコン室で行います。課題提出も図書館のパソコンを利用できます。パソコンは授業のほかに自主探究のプレゼンテーションや報告書、卒業論文の作成などにも使用します。学校で提供するパソコンには、台数や使用時間に限りがございますので、できるだけ各自でパソコンを購入するようにしてください。購入は、入学後でも構いません。パソコンは、Windows10 または 11 がインストールされているものを選んでください。また、入学後にはワード、エクセル、パワーポイントなどが無償で利用できます。これらがインストールされていない製品の方が安価に購入できます。その他、台数に限りはありますが、図書館でノートパソコンの貸出を行っています。貸出期間は15日以内となっています。

Q4:体育の授業等で使用する運動着の指定はありますか？

A4:運動着の指定はありません。体育館で使う運動靴については、靴紐のみ指定がされています。靴紐は入学手続き日に購入できます。(入学後は売店で購入可能です。)

Q5:成績はどのようにつきますか。留年しないか不安です。

A5:本校は4学期制です。各学期末に到達度試験を実施します。成績は、試験の成績および平素の学習状況等を総合して100点法で行います。履修科目の学年成績は、各学期の成績を総合して評価します。

履修科目の出席時数とその科目の年間総授業時間数の3分の2以上で、学年の成績評価が60点以上の場合は、単位を修得したものと認定します。

各学年に定められている単位数を修得しなければ、留年することとなります。

詳細は、入学式の時に配付する「学生便覧」をご覧ください。学生便覧には学則をはじめ、年間の行事予定表や学校生活に必要な情報が掲載されています。また、教育課程表(カリキュラム)や成績に関する規則、卒業までに必要な単位数や学年の課程修了単位数なども掲載されています。「学生便覧」は卒業時まで手元に置き、そこから必要な情報を得るようにしてください。

Q6:授業は何時までありますか？

A6:授業時間は2時限を標準90分とし、最大で8時限目(16:10終了)まであります。時間割(曜日)によって異なります。

	基本時刻
午前予鈴	8:30
ショートホームルーム	8:35-8:40
清掃	8:40-8:50
1-2時限	8:50-10:20
3-4時限	10:30-12:00
午後予鈴	12:55
5-6時限	13:00-14:30
7-8時限	14:40-16:10

Q7:勉強についていけるかが心配ですが、補習のような学習を支援する制度はありますか？

A7:本校には、学習に不安のある1~3年生の学生を、4年生以上の学生が個別指導等によりサポートする学習支援メンター制度があります。

また、学習支援メンター制度とは別に、数学・英語があまり得意ではない学生に声をかけて、週に1~2回程度補習を行う制度を実施しています。

その他、教員が教員室で待機し、訪れた学生に対して学習指導等を行うオフィスアワーという制度があります。

図書館には自学用の参考書や問題集も揃えていますので、上手に活用し、学力の向上を目指してください。

Q8:自主探究って何ですか？

A8:自主探究は、1～5学年生全員が取り組み、学生の課題発見・解決力を高める目的で実施されています。

自主探究活動(Self-directed research)とは、「自ら抱いた科学的な疑問や自ら取り組みたいと考えている科学的な課題に対して、まだ誰も出していない答えを解決するために探索し、見究めようとする活動」のことをいいます。

各学期には、数回の自主探究 Activity を設け、自主探究の意義を学び、グループワークを通して計画立案を進めます。夏休みに入る前にテーマを決め、具体的な調査・研究に取り組みます。冬学期の最後には、ポスター発表会で自主探究の成果を発表します。最終的には報告書をまとめあげ、単位認定をすることになります。進級の要件になっており、全学年の学生が取り組む重要な科目です。

最近では、自主探究のポスター発表を英語で行う学生も出てきました。またテーマを国際的な課題に設定し、国際交流事業を通じて海外で調査・研究を行う学生もいます。

ポスター発表会で優秀な発表を行った学生は、学年修了式で表彰されます。

自主探究に取り組むことにより、課題を発見する力・解決する力が身につく、調査・研究に取り組むノウハウの蓄積が期待されます。また、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を同時に養うことができます。

自主探究についての詳細は、本校のホームページ「学校案内」>「自主探究」でご覧になれます。

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoolguide/self-directed-research/about.php>

Q9:英語が苦手なようなのですが・・・

A9:近年の急速な社会経済のグローバル化に伴い、本校では、産業界のニーズに応える語学力や異文化理解力を備え、世界で活躍できるグローバルエンジニアを育成することを目指しています。

英語力を高めるために、オンライン英会話の実施や英検・TOEIC 受験の推進、資格取得のための集中演習などに取り組んでいます。

全員が2年生で英検準2級程度、4年生でTOEIC400点以上の実力を得ることを目標としています。

英語が苦手な学生でも、少しずつ英語に触れる機会を増やして、英語に慣れ親しんでもらうためのプログラムを用意しています。

Q10:海外に行くプログラムがありますか？

A10:本校では学生を海外へ派遣させるプログラムを毎年実施しています。近年、フランス・シンガポール・タイ・モンゴル・ニュージーランドとの交流が盛んで、その他にもオーストラリア・ベトナム・中国・その他の国への学生派遣を実施しています。

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、海外派遣ができませんでしたが、令和4年度からは新型コロナウイルスにかかる渡航制限が解除され、徐々に海外派遣が再開されてきています。令和4年度はフランスに4名の学生を派遣しました。また、令和元年度はフランスに9名、シンガポールに12名、タイに7名、モンゴルに2名、ニュージーランドに5名、オーストラリア、ベトナム、中国に各1名ずつ、その他の国に3名を派遣しています。派遣期間は約2週間から約6か月と様々です。

派遣に係る費用の一部、または全額負担する補助金もありますが、年度やプログラムによって有無が異なりますので詳しくはお問合せ下さい。

【学生生活に関する Q&A】

Q1:学生証はいつ発行されますか？

A1:入学手続き日に学生証に使用する顔写真を撮影します。学生証は入学式に交付します。

Q2:在学証明書はいつ発行されますか？

A2:入学式当日に在学証明書を新入生全員に1通配付いたします。在学証明書が複数必要な方は、学生課教務係に申し込んでいただくようお願いいたします。

Q3:アルバイトはできますか？

A3:アルバイトを希望する学生は、低学年(1~3年)は「アルバイト許可願」提出しなければなりません。

また、許可を受けるための条件として1年生はアルバイトをすることについて保護者の同意を得ることと、夜9時以降の作業をする必要があるアルバイトは一切禁止であることと、アルバイトの時期は冬季休業前まではアルバイトを許可せず、冬季休業及び学年末休業の期間のみ許可することとなっています。

Q4:学校内は内履きですか？

A4:学校内は体育館等の土足厳禁な施設を除き、外履きのままで構いません。

Q5:年間の行事予定はどこ見ると分かりますか？

A5:年間の行事予定は、本校のホームページ「学校生活」>「行事・授業・試験・発展学習」でご覧になれます。新型コロナウイルス感染対策やその他の理由によって、行事予定が変更なる場合があります。ホームページで随時ご確認ください。

なお、令和5年度の行事予定は、入学式までに印刷物をお送りします。

Q6:八戸駅から学校までの通学方法はどんなものがありますか？

A6:徒歩や自転車での通学のほか、八戸駅前バスターミナルから出発する公共交通機関のバスがあり、バスで約15分(学校最寄りのバス停は「高専前」)程度となります。

アクセスマップは、本校のホームページ「アクセス」でご覧になれます。

Q7:スマートフォンは必要ですか？

A7:本校では、学生全員が学校から割り当てられたメールアドレスを持っており、様々な連絡事項が、メールを通じて行われます。そのメールの受信ツールとして、Microsoft365 の Outlook アプリを用いるため、スマートフォン・タブレット等の端末が必要となります。また、Microsoft365 を使用する際には、スマートフォン等を用いた二段階認証が必要となります。なお、1～3年生のスマートフォン等の携帯通信端末等の使用に関する取扱いは次のとおりです。

原則として 8 時 30 分から授業終了時まででは使用禁止時間です。携帯電話等の電源を切り、ロッカーの中にしまっておいてください。午前中に授業が終了しても13時までは使用しないでください。

○注意点

- ・教員指示により授業等で使用する場合や高専祭、校内体育大会、校内球技大会の日は除きます。
- ・使用禁止時間外であっても、他の授業等の妨げとならないよう節度を保ってください。
- ・携帯通信端末等には、Wi-Fi を含む通信可能なタブレット、ノートパソコンを含みます。
- ・寮生にとって、寮は自宅とほぼ同じと見なし、授業終了後、スマートフォン等を持って寮に帰って構いません。寮閉鎖日などに保護者に連絡する場合も寮内から連絡してください。昼食など寮閉鎖中に戻る場合は、帰宅時とは見なせないので、スマートフォン等は使用禁止です。
- ・一時的に緊急に使用したい等の場合、教職員に申し出て、その指示に従ってください。

Q8:Microsoft365 とは何ですか？

A8:Microsoft365 とは、Microsoft 社のサービス(Word, Excel, Power Point, Teams, Outlook 等)を使用できるサービスです。本校の学生は在学期間中無償で使用することができます。学校からのメールを受信、レポート作成や自主探究のポスター作成等で必ず使用するツールになります。

Q9:クラブ(部)活動(運動部・文化部)はどんなものがありますか？

A9:八戸工業高等専門学校には、全国高専体育大会に出場する強豪クラブをはじめ、ロボットコンテストやプログラミングコンテストなどに出場する愛好会などを含めて、多くのクラブがあります。

各クラブの詳細は、本校のホームページ「学校生活」>「クラブ・部活動」でご覧になれます。

Q10:学生は全員がいずれかのクラブ(部)に所属しなければなりませんか？

A10:原則としていずれかのクラブに所属し、その活動に参加するものとなります。

Q11:クラブ(部)にはどうすれば入れますか？

A11:毎年、学生会が新1年生を対象とした部活動・愛好会紹介を行いますので、各クラブの紹介を聞いて、各種手続き方法を確認するようにお願いいたします。

Q12:学食のメニューはどのようなものがありますか？また値段は？

A12:学生食堂には、定食・丼もの・カレー・中華麺・和麺・日替わりメニューがあり、料金は350円～450円で提供しています。

Q13:高専生活での悩みや不安は、どこで相談できますか？

A13:学生の皆さんが色々な悩みや不安を持つことは、ごく当たり前のことです。担任や部活の顧問、教科の先生など身近な先生や人に相談しましょう。また、八戸高専には「相談室」があり、カウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門職に相談できる体制を整えています。窓口である保健室スタッフや相談員に声掛けしてください。「相談室」については毎月、ポスターやお知らせで案内しております。

Q14:朝は何時までに登校すればいいですか？

A14:8時30分までに登校してください。

Q15:傷害保険や賠償責任保険には加入した方がいいですか？

A15:本校学生の学校管理下(授業・課外活動・登下校)における災害補償としては、現在全ての学生が「独立行政法人日本スポーツ振興センター」の災害共済給付制度に加入しています。

また、近年は災害給付制度の対象とならない自転車側が加害者となる歩行者事故や高額賠償の事例が増えてきているため、ご加入は任意ですが、本校では在学中の様々なトラブルに備えるための補償プランの案内をしています。

Q16:自転車での通学はできますか？

A16:自転車での通学は可能となっています。

自転車通学に際しては、学生課前の棚に「自転車通学(登録)届」を用意していますので自転車保険(「個人賠償責任保証額が1億円以上である自転車保険」または「学生補償プラン」)へ加入し、必要な事項を記載して学級担任の押印をもらったうえで自転車保険の証書の写しと併せて学生課にご提出をお願いいたします。

Q17:図書館はどうすれば利用できますか？

A17:本校学生は図書館を利用可能となっています。

PC コーナーの利用や書籍の貸出・返却の際は学生証が必要となります。

図書館の詳細は、学校のホームページ「施設」>「図書館」でご覧になれます。

【福利厚生に関する Q&A】

Q1:JR 等の定期券発行に必要な通学証明書の発行はいつからできますか？

A1:学生課前の棚に「通学証明書」申込書を用意していますので、必要な事項を記載したうえで学生課にご提出をお願いいたします。

証明書の申込は入学手続き日以降から受け付け、入学式当日に証明書の発行を行います。通常、証明書の発行は申込日の翌々日午後となっていますのでご注意くださいようお願いいたします。

Q2:JR 等で使用できる学割証はどのように申請すればいいですか？

A2:学生課前の棚に「学校学生生徒旅客運賃割引証」申込書を用意していますので、必要な事項を記載したうえで学生課にご提出をお願いいたします。

証明書の申込は入学式以降から受け付けています。また、証明書の発行は、原則として申込日の翌々日午後となっていますのでご注意くださいようお願いいたします。

Q3:経済的支援にはどのようなものがありますか？

A3:国立高等専門学校(第1～3学年)の学生で所得が一定額未満の世帯を対象とした高等学校等就学支援金制度や入学料免除等制度、授業料・寄宿料免除制度があります。奨学金制度としては日本学生支援機構のほかにも、各自治体および民間の奨学金があります。募集があった際には、随時学生掲示板やホームページに掲示しますのでご確認をお願いいたします。

各種詳細は、本校のホームページ「学校生活」>「高等学校等就学支援金」or「授業料免除(入学料免除)」or「各種奨学金」でご覧になれます。

【進路に関する Q&A】

Q1:進路(就職・進学)はどのようなところがありますか？

A1:就職については、毎年全国の優良企業から多くの求人をいただいております。就職を希望する学生の就職率は100%となっております。令和4年度の求人倍率は約48倍となっております。

また、進学を志望する学生が年々増えており、旧帝大や地方国公立大を中心とした有名な大学への3年次編入学や、本校の専攻科を修了後に有名な大学院へ進学する学生が増えております。

進路の詳細は、本校のホームページ「進学・就職」>「進学状況」または「就職状況」でご覧になれます。

【学生寮に関する Q&A】

Q1:(経費について①)『寄宿料』とは何ですか？

A1:いわゆる「家賃」です。

一般寮は、月額 700 円(複数室)、年額 8,400 円です。進級して高学年生(4年生以上)になり、ユニットリーダーなどで個室となった場合は月額800円、年額9,600円となります。

混住型国際寮(以下「国際寮」)は、月額800円(個室)、年額9,600円です。

寄宿料は 5 月と 10 月に半年分(一般寮:4,200円、国際寮:4,800円)を指定の口座から振替します。

Q2:(経費について②)『学寮運営費』とは何ですか？

A2:主に、光熱水費や燃料費(ガス、重油)、トイレトーパーなどの消耗品、ゴミの収集や外部委託の清掃にかかる費用などの支払いのために徴収する経費です。

一般寮は、年額154,600円です。(前期61,800円、後期92,800円)です。

国際寮は、年額199,900円(前期80,000円、後期119,900円)です。

寄宿料同様に 5 月と 10 月の 2 回に分けて半年分を口座振替します。

なお、納めていただいた学寮運営費は途中で退寮しても原則として返金されませんので、ご承知置きください。また、学寮運営費が未納の場合、退寮を命じたり、次年度の入寮が認められないことがありますので、ご注意ください。

Q3:(経費について③)『寮生会費』とは何ですか？

A3:寮には寮生で構成される「寮生会」という組織があり、全員が加入しています。

『寮生会費』は寮生で組織する委員会による活動、年に1度の寮のお祭り(寮祭)、共通スペースに設置している新聞の購読料などに使用する経費です。年額 3,000 円を5月に口座振替します。

Q4:(経費について④、給食について①)『学寮給食費』はどのように支払いますか？

A4:毎月銀行口座からの引き落としとなります。金額は「学寮給食費納付額表」を参照してください。毎月26日(26日が休日の場合は翌営業日)に月額が指定口座から口座振替となります。給食費を4ヶ月滞納すると給食の提供が停止されます。寮は全員が給食をとることを原則としていますので、給食費が4ヶ月以上滞納になった場合は退寮を命じることがあります。過去に滞納が原因で退寮を余儀なくされた事例がありますので、ご注意ください。家計の事情で納付が困難となった場合は速やかに寮務係までご相談ください。

Q5:(給食について②)『給食』の申し込みはどのようになりますか？

A5:入寮する学生は全員、手続き用紙に記入の上、給食提供業者「シダックスフードサービス株式会社」に直接申し込む形となります。入学手続き日以降に申込書類を入寮希望者に郵送いたします。申し込みの〆切は、3月30日(木)です。同封の返信用封筒に入れて用紙を提出してください。

Q6:『食物アレルギー』がある場合は対応可能ですか？

A6:食物アレルギーがある場合は、除去食の提供、調理方法の変更など対応することが可能です。その際は、給食提供業者または寮務係まで随時お申し出ください。

Q7:(布団について①)布団は自前で用意しても良いですか？

A7:国際寮では、リースの布団を用意しています。リース料金は学寮運営費に含まれています。アレルギー等の事情がある場合でも自前で準備されたい場合は、寮務係までお知らせください。

自前で布団を準備される場合には、長期休業中には寮の部屋に置いておけませんので、一度家に持って帰っていただくこととなります。

一般寮は、布団のリースを個人契約することができます。アレルギー等の事情がある場合を除いて、基本的にはリースをお勧めしています。布団リースを希望される場合はQ8を参照して申し込みをしてください。

Q8:(布団について②)布団リースの申し込みについて教えてください。

A8:案内を入学手続き日に配付しますので、希望される場合は、同封の葉書でお申し込みください。締切は、3月25日(土)(当日必着)です。

Q9:入寮前の部屋の見学は可能ですか？

A9:平日9:00-16:00の間で対応いたしますので、寮務係へお申し出ください。

Q10:(国際寮について)新1年生は国際寮へ入寮できますか？

A10:入寮できます。希望調書(国際寮)を提出してください。国際寮の定員は、E棟24名、I棟68名、N棟59名です。国際寮への入寮者が定員を超えた場合には、寮務委員会で選考します。一般寮は、遠方からの通学が困難が学生を優先的に入寮させていますが、国際寮は八戸市内、近郊の学生も入寮が可能です。

Q11:(中途入寮について)1年生の中途からでも入寮できますか。

A11:定員に空きがある場合追加募集を行う場合があります。その場合は学生課前の電子掲示板や教室内に掲示されますので、確認して申込みを行ってください。
※令和4年9月には新棟(N棟:国際寮 定員59名)が完成予定です。国際寮への追加募集を行う予定です。

【入学手続きに関する Q&A】

Q1:誓約書の「保護者等」について、祖父母、県外の親族でもよいですか？

A1:保護者等とは、学生が教育研究活動を円滑に遂行していくうえで、学校と連携し、学生を指導、支援する立場にある者で、学生が未成年の場合においてはその親権者又は児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条、第6条の4及び第7条で定める学生を監護する者並びに監護する施設等の長のことをいいます。また、学生が成年の場合においては3親等以内の親族とします。要件に合った保護者等が選定できない場合は、独立の生計を営む成年者であり、学生の指導、支援への意向のある者とします。

Q2:保護者等が死亡した場合、離婚により保護者の資格を失った場合にはどうしたらよいですか。

A2:「保護者等変更届」を提出していただくことで変更が可能です。その際には、改めて誓約書の提出もしていただきます。

【お問い合わせ先】

教務に関するお問い合わせ先

八戸工業高等専門学校学生課教務係

電話:0178-27-7234

メールアドレス:kyoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp

学生生活・福利厚生に関するお問い合わせ先

八戸工業高等専門学校学生課学生係

電話:0178-27-7235

メールアドレス:gakusei-o@hachinohe-ct.ac.jp

学生寮に関するお問い合わせ先

八戸工業高等専門学校学生課寮務係

電話:0178-27-7238

メールアドレス:ryoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp

※作業等で不在の場合がありますので、お問い合わせについてはなるべくメールをご利用くださるようお願いいたします。

進路・その他全般に関するお問い合わせ先

八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係

電話:0178-27-7233

メールアドレス:nyushi-o@hachinohe-ct.ac.jp